

事業所防災リーダー通信 **2023** Vol. 10

事業所防災リーダーに向けて、防災知識や防災に関するお知らせ等を定期的に発信します。



オフィスに潜む危険な場所

毎日過ごすオフィスも震災が起きたら危険な場所へと変化します。

オフィス家具には落下、移動、転倒防止対策を実施し、日頃から整理整頓を心掛ける等の防災対策をしましょう。

1 大震災が起これと

キャスターを固定していないコピー機等はあらぬ方向へ移動し、人にぶつかって胸部等を圧迫すると、最悪の場合は呼吸ができなくなり窒息死の危険があります。家具類が転倒し、書棚の書類等が落下・散乱するとけがを誘発してしまい、避難行動が遅れることもあります。また窓ガラス片が頭を直撃すると、大けがをする危険も潜んでいます。大きな揺れを感じたら、**物が落ちてこない・倒れてこない・移動しない場所**に身を隠しましょう。

2 揺れが収まったら

余震や停電でエレベーターが停止する可能性があるため、階段を使いましょう。高層ビルは長周期地震動の影響を受けやすく、長く大きく揺れることがあります。慌てずに**安全な場所へ避難**して、揺れが収まるのを待ちます。



家具等の転落落下による負傷

東京消防庁が2003年～2008年に起きた大きな地震における負傷者の負傷原因を調査したところ、負傷者の3割～5割が家具等の転倒・落下によるものだったことが明らかになり

ました。家具の転倒や散乱により、逃げ遅れたりケガをしないためにも、家具を固定し、転倒・落下・移動対策を実施しておくことが大切です。

東京都からのお知らせ

東京都では民間事業者の皆様の防災に関する取組の支援の一環として、**企業防災や帰宅困難者対策をテーマにした動画**を公開しています。本動画は**どなたでも無料で、ご都合のよいタイミングで視聴**できます。下記のリンクからアクセスしてください。

https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/kitaku_portal/1000048/1023379/1023380.html

東京都では一斉帰宅の抑制について、日ごろからイメージしてもらうためにガチャピンとムックがわかりやすく解説する動画を作成しました。本動画は**どなたでも無料で、ご都合のよいタイミングで視聴**できます。下記のリンクからアクセスしてください。

https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/kitaku_portal/1006183/index.html